

安心して働きながら子育てできる熊本プロジェクト

行政・保育施設・養成校の協働した保育環境の質保証に向けた取り組み

プロジェクトメンバー

尚綱大学 尚綱子育て研究センター センター長・増淵千保美

連携機関 熊本県内の保育施設（中九州学園、中九州第二学園、清水ヶ丘保育園、認定こども園やまなみ、認定こども園双羽幼稚園、なぎさ保育園、三気の里など）

プロジェクトの概要・目的

- ①「安心して働きながら子育てできる環境づくり」の一環として、保育者の早期離職予防に関する実態調査（熊本県内保育施設約 800 ヶ所を対象）の結果から、新任保育者に求められる知識・技術・態度、研修等について分析を行う。
- ②熊本県内で本学卒業生の早期離職が少なかった 10 施設に対するインタビュー調査の結果から、新任保育者への研修、相談体制や対応、新任保育者に必要な知識や技術について分析を行う。
- ③①②の分析結果を踏まえ、離職した当事者からの聴き取り調査を実施する。
- ④行政・保育施設・養成校の協働した保育環境の質保証に向けての取り組みをすすめていくために、「新任保育者の成長に向けた環境づくり」に関する講演会・セッションを開催する。

活動内容と成果・効果

- ①施設管理者側に対する調査の結果分析では、労働環境、保育内容、職員研修の体制が課題としてあげられ、熊本県内の保育施設の新任保育者育成の現状と課題を明らかにすることができた。
- ②離職の少ない保育施設に対するインタビューでは、各園で独自に行っている新任保育者の育成の取り組みや姿勢・心構えについての共通項目を把握することができ、今後の新任保育者育成にむけての課題が明らかになった。
- ③離職者インタビューでは、当事者が語る離職要因から、「勤務環境」「子どもへの対応を含む保育観の違い」「職場の人間関係」「相談体制」「施設内の新任保育者への研修体制」「新任保育者理解」「自信喪失」「就職活動の不十分さ(ミスマッチ)」「職場の意志決定の仕組み」など、今後の離職予防の課題を把握することができた。
- ④これらの成果を報告した講演会では、113 名（73 保育施設）の参加があり、本プロジェクトへの理解を広げることができた。